

慈雲

39号

2015/12

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る
百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

SinsyuuOotaniha

JiunzanZuirenji

Jiunkai



作是語已
悲泣雨淚
遙向佛礼
未攀頭頃

【『観経』の言葉】

この語を作し已りて、
悲泣雨淚して、はるかに仏
に向かいて礼したてまつ
る。未だ頭を挙げざる頃
に、

幽閉されている韋提希
夫人は、本心ではお釈迦さ
まを願いながらも、仏弟子
の阿難に来て欲しいと言
いました。そう言い終った
夫人はしかし自分の言葉
とその本心とが違ってい
るというねじれの状態に
あるものですから、目に悲
しみの涙をためてただ仏
のおられる耆闍崛山に向
かって礼すことしかでき
ません。

善導大師はこの所を
「頂を叩いて跏じよす」と
説いています。落ち着いて
静かに仏を礼したのでは
なく悲しみが心をつきあ
げ、身悶えしてふしまろぶ
のであったと言うのです。
その夫人が頭を挙げない
うちに、というのです。

【帰敬式をおえて】

十一月八日の報恩講のお勤めの後、六名の方々が帰敬式を受式され、仏弟子とされました。それぞれ、お気持ちを更新たに、受式されたご感想をいただきましたのでご紹介させて頂きます。

なお、紙面の都合上、順不同で掲載させて頂いていただきます。

法名 釋尼喜光
浅井 喜代子

十一月八日瑞蓮寺本堂において帰敬式を受け、「釋 喜光」という法名をいただき、あらためて仏弟子として身の引き締めまるおもいがいたしました。

住職のご説明によると『教行信証』にでている『無量壽如来会』（仏説無量壽經の異訳本）の引用の中に「喜光」とあり、阿弥陀如来の別名の一つのことです。

では「喜光」とは、阿弥陀様にとつては私たち衆生をその無碍の光で救いとることが喜びであり、私たちにすると阿弥陀様の喜びにあふれた御光に照らされてこの上ない喜びに満たされるのです。

このような意味深く有難い法名の教えを大切に、日々阿弥陀様の無量の光に包

まれていることを感謝し、報恩の念仏を絶やさず明るい余生を楽しく過ごしたいと思っております。誠にありがとうございます。

法名 釋尼慈光
山脇 英子

帰敬式の日には雨降りで道路が渋滞して到着が遅くなり、急いで瑞蓮寺さんのお玄関へかけ込み雨傘をたたんでいると、後から来られた方に「今日はおめでとうございます」といわれ、「えっ」、「何で」とびっくりしました。意味がわからず報恩講のお勤めの中、考えていましたが、私のように法事、お彼岸、お盆、お葬式の時ぐらしか佛教を身近かに感じるものがなかった者ですのに、それでもあまねく光をあて見守っていて下さるから法名も賜われたのだと気づきました。それで、良かったね、おめでとう。という気持ちを伝えて下さったのだとわかりました。本当に有難い事だと思いい心より合掌いたしました。今後は常に佛様に感謝の気持ちで毎日を過ごしたいと思っております。

この機会を与えて下さいました御住職様はじめ帰敬式にお立ち会いましたさま

した皆様に厚く御礼を申し上げます。

合掌

法名 釋 光雲
山林 長平
法名 釋尼静念
山林 辰子

祈りの瑞蓮寺

私たちにとつて平成二十七年十一月八日は忘れません。瑞蓮寺住職様有難う御座居ました。

真宗大谷派瑞蓮寺にて出席を致し日頃の両親祖父祖母の墓参りに行って来ました。人生の有難きを頂きまして仏道の勧めに参ります。

本堂にて一時間の式、心よりもつたないと思いい心の教を忘れずはげみます。私八十四才妻八十一才、妻と二人で子供に教え、忘れずに大事をして参ります。御住職一同方々有難う御座居ました。

法名 釋 信政
武部 政治

先日は“おかみそり”ありがとうございました。

私はすでに先代住職から法名を頂いて
ましたので“おかみそり”の儀式を受け
ました。

まだまだ未熟者ですので御指導お願い
申し上げます。

法名 釋 堅住
武部 鐵次

このたび報恩講の日に法名をいただき
誠にありがとうございます。

朝食前阿弥陀経をよみ夕方食前に正信
偈をよんでいます。今後もつづけていき
たいと思っています。

【同朋の会 写真コンテスト】

十二月五日（土）、瑞蓮寺同朋の会にお
いて写真コンテストが催されました。七
十作品以上の応募があり、内六十九作品
が展覧され、訪れられた方々の投票によ
り、「グランプリ」「準グランプリ」が選
出されました。他にも、「住職賞」「会長
賞」「ユーモア賞」の選出が行われました
ので、紙面で紹介いたします。

印刷の都合上、多少色合いが劣化して
おりますが、実物は素晴らしい物です。
どうぞ、ご容赦下さい。

☆☆☆グランプリ



作者 久留宮 典子様

タイトル

清閑

場所 大原三千院の境内

時期 初夏の頃

作者コメント

静まりかえった苔庭。青もみじが
その静けささそっています。

☆☆準グランプリ



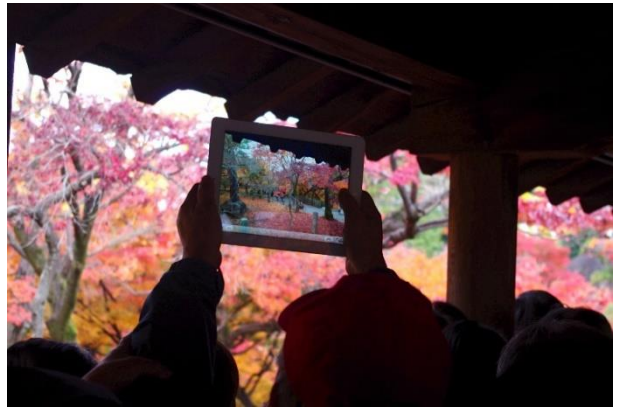
作者 吉川 新一様

タイトル

嵐山

場所、時期、コメントは未記入

☆住職賞



作者 中川 慧衣子様
タイトル iPad越し
場所 東福寺
時期 2012年秋
作者コメント 紅葉の時期の東福寺人ごみの中からゆつと出たiPadの東福寺の雰囲気とのギャップが面白く、その中にうつる紅葉の綺麗さに惹かれ撮りました。

☆会長賞



作者 橋本 進様
タイトル 夢の島
場所 西芳寺
時期 平成十九年十一月
作者コメント 夢窓国師が築いた庭で一面に苔がおおわれ西芳寺という寺名よりも愛称の方で有名になったところ。
SS1/60秒
CF4.5
APPS400フジカラー

☆ユーモア賞



作者 水谷 英一様
タイトル 巨大な輝き
場所
時期
作者コメント 琵琶湖疎水沿いを南禅寺方面に歩いて行くと現る金色に輝く像。疎水を作った人のチカラと命の水の勢いを表しています。思わず同じポーズをとりました。

【編集後記】

師走となり少し暖かい日が続き、十一月の気温でしたが、最近は十二月の気温に戻りいっそう寒さを感じますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

今回の慈雲は帰敬式の感想と同朋の会写真コンテストで紙面いっぱいになり、【「正信偈」に学ぶ】と【易行風】はお休みさせて頂きます。

毎年、帰敬式を受式された方の感想を拝読していますと、数年前に私自身が受

式したときのことを思い出します。

自分自身が仏弟子であることを疎かにしていないか？と阿弥陀様から問い直しさせられているような気がします。

写真コンテストに多数のご応募を頂きありがとうございます。どれも素晴らしい作品で、なによりも写真から伝わってくる暖かさ、和やかさが印象に残りました。是非とも来年も開催したい。いや、瑞蓮寺の名物企画としたい。と私個人は言うまでも無く。同朋の会の推進員さん方も、そう思って頂けていると信じていますので、来年は今回出品された方、されなかつた方、是非ともご参加下さい。

慌ただしく今年も過ぎようとしておりますが、慈雲も皆様のおかげをもちまして第三十九号を発行することが出来ました。これからも続けて行きたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。お便り、ご意見、イラスト、写真等、お待ちしております。

長塩浩史

瑞蓮寺のホームページ

<http://www.zuirenji.net/>

瑞蓮寺のメールアドレスが変わりました

zuirenji@hotmail.com